

第3回講義の基本問題・応用問題（その1）

学籍番号								提出日	月	日	3
学籍	学部			年	氏名						3

問3-1 法人や外国人に対して、可能な限り、憲法上の人権を保障しなければならないとすれば、それはなぜか。それぞれ、その根拠を示せ。

問3-2 国民（日本国民）とは何か。憲法は、国民について、どのように規定しているか。また、法律は、国民について、どのように規定しているか。

第3回講義の基本問題・応用問題（その2）

学籍番号								提出日	月	日	3
学籍	学部			年	氏名						2

問3-3 政治資金のあり方について、論ぜよ。企業、業界組合、企業団体などの政治献金は、憲法上、認められるべきか（認められるとしても、立法政策上、妥当であるか）。

問3-4 憲法上許容されているということと、憲法上要請されているということとは、異なるのか。

問3-5 現在、一部の地方公共団体が、一定の職種について、外国人を職員として採用しているが、このことから、憲法上、外国人に公務就任権が保障されているといえるか。

第3回講義の基本問題・応用問題（その3）

学籍番号								提出日	月	日	3
学籍	学部			年	氏名						3

問3-6 未成年者は、人権の完全な享有主体といえるか。

問3-7 天皇や皇族の人権について、制約される人権の種類とその理由について、検討せよ。また、天皇と皇族とでは、どのような違いがあるのか。